

宮崎兄弟資料館だより

第14号 2023/3/31

荒尾市立図書館のデジタルライブラリーに 小学館デジタルまんが偉人伝 『宮崎兄弟物語』が完成！！

2022年4月、新荒尾市立図書館がオープンし、デジタルライブラリーに郷土の偉人「宮崎兄弟」についての漫画を実装しました。現在、市立図書館はもちろん、市内の小中学生はGIGAスクール構想で配布されたタブレットから閲覧可能となっており、郷土学習での活用が進められています。

作画は、「監察医朝顔」の漫画で知られる木村直巳先生が担当していただき、宮崎滔天はじめ、宮崎家の人々の魅力が生き生きと写實的に描かれています。

ストーリーは、八郎という圧倒的存在感を放つ兄に影響を受け「先天的自由民権家」と自覚して育った寅蔵が、「万国共和の極楽」をめざして様々な人々と出会いながら思索を重ね、やがては兄・彌蔵の説く世界革命に深く共鳴し、その第一歩としての中国革命に身を投じていったこと、その中で中国の革命家・孫文と運命的な出会いを果たし、辛亥革命成功に至るまでの内容となっております。

文献資料の文字上からは読み取れない、その行間にある、確かに過去この世界に生きていた人間の心情をきちんと掬い取った読み応え抜群の作品となっておりますので、ぜひご覧ください。



▲『宮崎兄弟物語』の表紙

宮崎兄弟と孫文の友情を礎に 荒尾市とシンガポールの中学生がICT交流

宮崎兄弟資料館とシンガポール孫中山南洋紀念館・晚晴園は、孫文と宮崎滔天との歴史的関係と深い友誼を礎として、2019年9月に両館提携についての基本合意書を締結しました。荒尾市では、両館の絆をさらに深めるため、双方の交流を通じて郷土愛・国際感覚を併せ持った荒尾の未来を担う「グローバル」な人材の育成をめざす「あらおグローバル人材教育プログラム」を策定。新型コロナウイルスの感染拡大を受けながらも、令和3年度に市内中学校に通う2年生9名が「事前学習」を受け、令和4年度にはシンガポールの中学生と「私たちの歴史、私たちの文化遺産」をテーマにICT交流を実施しました。



▲(左より) 資料館見学で事前学習、シンガポールの中学生とのICT交流風景



(上) 両国参加者の記念撮影
(下) 教育フォーラムでの発表

Wikipediaで地域資源を発信

宮崎兄弟をテーマにウィキペディアタウンを開催

オープンから半年で来館20万人を超えた図書館で、人が集まるだけでなく、そこから新たな交流を生み出すことをめざし、地域資源を活用したイベント・ウィキペディアタウンを実施しました。日本では2013年に横浜で初めて開催され、その後日本各地で行われています。公式には熊本県内初の取り組みで、その第一回目のテーマとして「宮崎兄弟」を取り上げました。本イベント運営にあたっては、ウィキペディアンとして活躍されている漱石の猫さん及びかんたさんにご協力をいただき、参加者は基本操作について学んだあと、八郎・民蔵・彌蔵の既存記事の編集及び「宮崎兄弟の生家」の記事新規作成に取り組みました。熊本市や福岡市からの参加もあり、大変活気のあるイベントとなりました。



宮崎 八郎 (あやむぎ やたら、明治20年10月30日 - 昭和37年7月23日) 陸軍少佐、小説家、実業家。出生地は熊本県荒尾市。幼名は八郎。本名は八郎。別名は八郎。本名は八郎。本名は八郎。...

宮崎 民蔵 (あやむぎ たみぞう、明治22年10月12日 - 昭和37年7月23日) 陸軍少佐、小説家、実業家。出生地は熊本県荒尾市。幼名は民蔵。本名は民蔵。別名は民蔵。...

宮崎 彌蔵 (あやむぎ やしぞう、明治25年10月12日 - 昭和37年7月23日) 陸軍少佐、小説家、実業家。出生地は熊本県荒尾市。幼名は彌蔵。本名は彌蔵。別名は彌蔵。...

宮崎 兄弟 (あやむぎ けいどう、明治20年10月30日 - 昭和37年7月23日) 陸軍少佐、小説家、実業家。出生地は熊本県荒尾市。幼名は兄弟。本名は兄弟。別名は兄弟。...

宮崎 八郎 (あやむぎ やたら、明治20年10月30日 - 昭和37年7月23日) 陸軍少佐、小説家、実業家。出生地は熊本県荒尾市。幼名は八郎。本名は八郎。別名は八郎。...

宮崎 民蔵 (あやむぎ たみぞう、明治22年10月12日 - 昭和37年7月23日) 陸軍少佐、小説家、実業家。出生地は熊本県荒尾市。幼名は民蔵。本名は民蔵。別名は民蔵。...

宮崎 彌蔵 (あやむぎ やしぞう、明治25年10月12日 - 昭和37年7月23日) 陸軍少佐、小説家、実業家。出生地は熊本県荒尾市。幼名は彌蔵。本名は彌蔵。別名は彌蔵。...

宮崎 兄弟 (あやむぎ けいどう、明治20年10月30日 - 昭和37年7月23日) 陸軍少佐、小説家、実業家。出生地は熊本県荒尾市。幼名は兄弟。本名は兄弟。別名は兄弟。...

▲ウィキペディアンからの後、参加者が一緒に書籍で内容を確認したり、記述内容を検討しながら記事の編集を進めます。

▲(左上)参加者記念撮影、(右上)イベント告知ポスター
(下)民蔵の記事の編修前・後の比較。記事レイアウトが整理されることが一目瞭然！生涯についても追記や時期区分を挿入しました。

日中国交正常化50周年・熊本県日中協会設立50周年記念

「日中文化交流in荒尾」にて

県内中国人留学生が訪問

10月22日（土曜）、熊本県内の中国人留学生を荒尾市に招待し交流を深めるイベントが、熊本県日中協会・荒尾市日中友好促進会議共催で行われ、孫文ゆかりの地として宮崎兄弟の生家施設を視察してもらいました。

留学生のみなさんは資料館の展示内容も熱心に見学していらっしや、中には「時間が足りない！」という方も。中国の偉人である孫文が二度訪れていること、革命家たちゆかりの史料が荒尾にあることにびっくりされ、「中国と荒尾の歴史的な繋がりを感ずることができた」と言っていました。



▲青空のもと、茅葺屋根を背景に記念撮影。

荒尾海陽中学校・茶道部によるお呈茶 第27回牡丹茶会 大盛況

赤の牡丹が見頃を迎えた4月10日、今回も荒尾海陽中学校の茶道部の皆様のご協力を得て牡丹茶会を開催しました。前回は定員の50名分がわずか1時間半で完売し、昼頃に来られたお客様にお断りせざるを得ない状況に。そこで今回は80名分をお呈茶いただきました。お天気に恵まれた今回は開始前からご来場くださる方もあり、12時半過ぎには完売。大変盛況のうちに終わりました。



▲縁側でお抹茶をたてる海陽中茶道部員。一時は待合いが出るほどの盛況ぶりでした！

3年ぶり「初夏のいけばな展」 伝統文化を次代へ

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、3年ぶりの開催となったいけばな展。2日間とも清々しい天気の中、美しい季節の花たちが宮崎兄弟の生家を彩り、2日間で200名以上の方が観覧に来てくださいました。

1日目には、地元の荒尾第一小学校の生家施設見学とも重なり、華道会の先生たちが分かりやすく説明をしてくださると、子どもたちは興味津々でいけばなの作品に見入っていました。2日目には恒例のいけばな体験も開催。いけばなの基本について、華道会の先生が1対1で指導してくださり大変好評でした。



▲生家の縁側と資料館軒下の多くのいけばな作品に子どもたちは一生懸命見入っていました。

「日中友好の朝顔」 今年も市内の小中学校で見事に開花

平成29年度より、荒尾市では「日中友好の朝顔」を育てる取組みを市内の小中学校で実施していただいています。本市の子どもたちに幼いころから「国を超えた友情の歴史」に触れてもらおうというもので、令和4年度は市内12校に取り組んでもらいましたのでご紹介します。

一小

前年度同様、5月下旬に1年児童の皆さんが種まきをし、6月には宮崎兄弟の生家に学習に来てくれました。学習を踏まえて、朝顔の掲示カード作り、押し花作りに取り組んでくれました。



万田小

今年度は、5年児童の皆さんが種まきをしてくれました。花壇に植え替えた

あと、理科「植物の実や種子の
でき方」の学習に活用してもらいました。



平井小

今年は、「日中友好の朝顔」の由来について学習した6年児童の皆さんが5月初めに種まきをしてくれました。その後、「総合的な学習の時間」にも宮崎兄弟についてさらに学習し、日中の平和と友好について考えを深めてくれました。



府本小

今年は特別支援学級（はばたき学級）の児童2人に育ててもらいました。



八幡小

前年同様、5年理科「植物の実や種子の
でき方」の教材として、また受粉実験に活用してもらいました。



有明小

前年同様、5年理科「植物の実や種子の
でき方」の教材として活用するため、5年児童の皆さんに育ててもらいました。



緑ヶ丘小

栽培委員会で育成してもらおうとともに、今年は、出前講座・現地学習で宮崎兄弟について学びを深めてもらいました。

桜山小

環境飼育委員会の児童の皆さんにより学校玄関脇のプランターに種まきしてもらいました。また、用務員さんの協力で、学校周りのフェンス、理科園、花壇にも種まきして育ててもらいました。

中央小

今年も、5年理科「植物の実や種子の
でき方」の教材として活用してもらいました。



海陽中

今年も生徒会執行部生徒の皆さんに種まきしてもらい、さらに環境委員さんと連携して、水やり、ネット設置としていただきました。



今年も生徒会役員の皆さんにより学校中庭のプランターに種まきしてもらいました。

また、開花後には、説明札を付けて、職員玄関近くの渡り廊下に移動させ、全校生徒が見えやすい場所に展示していただきました。



三中

生徒会役員の皆さんにより中庭のプランターに種まきし育ててもらいました。



四中

書籍紹介⑥

山室信一

『アジアの思想史脈 空間思想学の試み』
(2017年、人文書院)

明治期に欧米で学んだ日本の留学生たちがそれぞれ行った国ごとに、ないしは中国を経由した学問を基に大学や自発的結社を創設しその思想や制度を広げたこと、それが大衆演芸を通じて分かりやすく多くの人に普及されたこと、さらには中国・韓国・ベトナムなどから日本へやって来た留学生たちが自分たちの言葉に翻訳し、各国の国家形成あるいは国民形成のために使ったという「思想連鎖」をたどり、境界と想像を超えた思想のつながりという新たな視覚を提示した一冊。

本書では宮崎滔天はじめ兄弟についても取上げられており、「遅れてきた自由民権家」であった彌蔵・滔天は日本ではなく、広く世界に自由や民権の実現を求めたこと、滔天が「国家間の競争や弱肉強食という世界の在り方そのものを変革する、そのためにこそ闘い、世界革命をやらなければならないのだ」としたことは、ある種のグローバルな視圏をもって理想というものを地べたを這うように求めたことだと評し、そういう志向性を見つめ直すものとして『三十三年之夢』を読むべきと指摘する。



宮崎兄弟の生家スケジュール（令和5年度）

※3月末～4月上旬頃、牡丹開花

・初夏のいけばな展（5月27～28日、二日目
いけばな体験あり〔先着40名〕）

※ゴールデンウィーク開館（5月1日）

※5月末～6月頭 菩提樹開花

※お盆開館（8月14日）

・音と光の祭典（9月30日）

・JR九州ウォーキング（11月3日）

・滔天忌俳句大会（12月6日）

・文化財防火デー「防火訓練」（1月26日）

※開花時期については、前後することがございます。
詳細については荒尾市文化企画課（☎0968-63-1274）までお問合せください。

※イベント詳細については、宮崎兄弟資料館HP
(<https://www.city.arao.lg.jp/kurashi/shisetsu/miyazaki-kyodai/>)

をご覧ください。

～次号予告～

次回の「宮崎兄弟資料館・館報」15号は、2024（令和6）年3月に発行予定です。

掲載内容についてご意見・ご要望があれば、下記メールアドレスまでお寄せください。

E-mail：culture@city.arao.lg.jp（荒尾市文化企画課
世界遺産・文化交流室）



開館30周年記念

荒尾市は平成4年（1992年）に市制50周年を記念して、郷土の先覚者宮崎兄弟の功績を顕彰するとともに、荒尾市と中国との友好のシンボル施設として活用を図るため、宮崎兄弟の生家の復元整備と資料館を建設し、平成5年6月に開館しました。令和5年は開館30周年を記念しまして、イベントを企画しておりますので、続報にご注目ください。

1 宮崎兄弟の生家 牡丹茶会 二胡演奏会

牡丹茶会にて二胡の演奏会も行います。日本の伝統文化であるお茶を味わいながら、中国の伝統音楽の音色もぜひお楽しみください。

時間：11時から（30分予定）
奏者：王怡（ワン・イ）さん



2 演劇『夢・桃中軒牛右衛門の』 荒尾公演

熊本出身の劇作家・宮本研（1926-1988）氏原作で、荒尾出身の流山兎祥氏が演出を手掛けた『夢・桃中軒牛右衛門の』の荒尾公演が実現！昨年東京で上演され好評を得た本作を、ぜひ荒尾総合文化センターでご鑑賞ください。詳しい情報は、夏頃に荒尾市公式HPで公開する予定です。

3 『宮崎兄弟物語』作画の漫画家・木村直巳先生 講演イベント

令和5年8月、『宮崎兄弟物語』で宮崎兄弟たちの活躍を魅力的に描いてくださった漫画家の木村直巳先生による講演イベントを計画中です！宮崎兄弟についてどのような思いを抱いて、作画をしていただいたのか等、漫画制作秘話をお話いただく予定です。日時・参加方法については6月に発表予定ですので、荒尾市公式HPをお見逃しなく！



❀お問合せ❀

荒尾市役所 文化企画課
世界遺産・文化交流室
TEL：0968-63-1274
メール：culture@city.arao.lg.jp



❀荒尾市宮崎兄弟顕彰基金への寄附のお願い❀

荒尾市では「荒尾市宮崎兄弟顕彰基金」を設置し、宮崎兄弟の生家施設の維持管理や、宮崎兄弟の顕彰事業に活用しています。世界に誇ることができる荒尾の偉人の歴史を次代に継承していくため、寄附にご協力をお願いいたします。



ご協力をお願い
します！

みやじゃっきはちろう